

2023年5月24日発行

プレスリリース



関係各位

TOKYO MX

第30期（2022年度）決算・役員人事等

5月24日（水）、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）は、決算取締役会を開き、第30期の事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書を承認するとともに、役員人事について内定しました。

役員人事については、6月22日（木）開催予定の第30回定時株主総会、取締役会での決議及び監査役の互選にて正式に決定される予定です。

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）は、5月24日（水）に開催した決算取締役会において、6月22日（木）開催予定の第30回定時株主総会に提出する第30期（2022年4月1日～2023年3月31日）決算及び役員人事内定を承認しましたので、お知らせいたします。

TOKYO MX 第30期(2022年度)決算

(単位：百万円)

	第30期(2022年度)	第29期(2021年度)	増減額	前期比
売上高	11,926	11,923	2	100.0%
放送事業収入	11,159	11,410	△250	97.8%
その他事業収入	766	513	253	149.5%
売上原価	7,104	7,170	△66	99.1%
売上総利益	4,822	4,752	69	101.5%
販売費及び一般管理費	3,653	3,752	△99	97.3%
営業利益	1,168	1,000	168	116.9%
経常利益	1,101	843	257	130.5%
当期純利益	746	580	165	128.5%

第30期（2022年度）決算として、売上高は119億26百万円（前事業年度比2百万円増、100.0%）となり、売上原価71億4百万円、販売費及び一般管理費36億53百万円を差し引いた営業利益は11億68百万円（前事業年度比1億68百万円増、116.9%）、経常利益は11億1百万円（前事業年度比2億57百万円増、130.5%）、当期純利益は7億46百万円（前事業年度比1億65百万円増、128.5%）と増収増益となりました。

売上高の内訳として、放送事業のタイムは前事業年度比99.6%、スポットは前事業年度比89.0%となり、その結果、放送事業収入は111億59百万円（前事業年度比2億50百万円減、97.8%）となりました。一方、その他事業収入は、多くの音楽イベントを手掛けたことや、初音ミク「マジカルミライ」等により7億66百万円（前事業年度比2億53百万円増、149.5%）の増収となりました。

なお、2023年度につきましては、売上高125億15百万円（前事業年度比104.9%）、営業利益10億円（前事業年度比85.6%）を計画しています。

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社

役員担務一覧

(2023年6月22日付)

代表取締役会長	後藤 亘	<経営全般>
代表取締役社長	伊達 寛	<経営全般、コンプライアンス担当>
専務取締役	南 晋一郎	<経営全般、全社統括>
常務取締役	松下 隆弘	<管理本部長 委嘱、リスク担当、 新局舎プロジェクト担当、グループ会社担当>
常務取締役	大川 貴史 (昇)	<編成制作本部長 営業本部長委嘱>
常務取締役	根岸 要 (昇)	<報道技術本部長 委嘱>
取締役 (非常勤)	足立 直樹	凸版印刷(株) 特別相談役
	馬野 耕至	元(株)読売新聞社メディア戦略局専門委員
	唐島 夏生	(株)エフエム東京代表取締役会長
	菅沼 堅吾	(株)中日新聞社常務取締役東京本社代表
	多田 憲之 (新)	東映(株)代表取締役会長
	長岡 勤	(株)東京ドーム代表取締役社長COO
常勤監査役	小林 重幸 (新)	
監査役 (非常勤)	栗田 晶子	
	中村 利雄	(公財) 全国中小企業振興機関協会会長
	古郡 鞆子	(学) 中央大学名誉教授
執行役員	赤坂 渡 (再)	営業本部副本部長
	佐藤 真紀 (再)	営業本部副本部長・アニメビジネス局長
	青木 滋 (新)	管理本部・総務局長
	佐藤 圭一 (新)	編成制作本部・制作局長
	中嶋 雄介 (新)	営業本部・営業局長
局長	太田 賢	内部監査室長
	城田 信義	編成制作本部・編成局長
	買場 道雄	報道技術本部・報道局長
	堀部 潤	報道技術本部・技術局長
	畠 誠 (新)	営業本部・事業開発局長

※ 本年6月22日開催の第30回定時株主総会、第224回取締役会での決議及び監査役の互選による決定を前提に示したものです。

※ 非常勤監査役 柴田 一弘は退任いたします。

以上